

2025年3月27日

専門学校名古屋デンタル衛生士学院
校長 飯野 新太郎

学校関係者評価委員会

2024年度学校関係者評価委員会報告

自己評価報告書を基に実施しました学校評価を下記の通り報告します。

記

1、学校関係者評価委員

- ①長谷川 勲（有識者委員：学校制度識者）
- ②飯野 弘和（専門分野委員：関連企業）

2、学校関係者委員会報告

別紙のとおり

以上

2024年度学校関係委員会報告書

①教育理念

評価項目
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか
学校における職業教育その他の教育指導の特色は何か
社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・関係業界・保護者等に周知がなされているか
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか
自己評価
<p>【取組状況と成果】</p> <p>教育方針に掲げる人間性豊かな学生を育成するために、独自のカリキュラムとして教養学やライフデザインの講義を取り入れ、患者様との信頼関係を築くうえで大切な患者対応方法を学んでいる</p> <p>入学時のオリエンテーションで教育方針、教育理念を説明している</p> <p>訪問歯科臨床など歯科医療のニーズにあわせ、超高齢化社会に向けた在宅歯科診療や口腔機能低下症の評価や口腔機能訓練法など歯科保健指導の中や高齢者施設実習の中で実施している。またホワイトニングの実習を取り入れている</p> <p>時代の変化や医療の高度化に伴い国家試験の難易度が上がってきたことにより、カリキュラムの改定と1時間の授業時間を見直した</p> <p>【今後の課題と取組】</p> <p>学校の理念・目的・育成人材像・特色などを今後生徒や保護者に周知できる方法を構築する教務の仕事が事務化しているため、講義の内容を検討していく時間の確保に取り組む</p>
学校評価委員の意見
<p>評価：ほぼ適切である</p> <p>臨床の現場に必要な最先端の技術を経験させる必要性和現場で活躍する歯科衛生士から具体的な目標や心構えを学ぶことについて検討を行うこと</p> <p>引き続き、現在の取組と課題の項目を踏まえて鋭意努力を行っていくこと</p>

②学校運営

評価項目
目的等に沿った運営方針が策定されているか
運営方針に沿った事業計画が策定されているか
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
人事、給与に関する規程等は整備されているか

教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
情報システム化等による業務の効率化が図られているか
自己評価
<p>【取組状況と成果】</p> <p>長期的な事業計画、短期的な行事計画を作成し、例年実施している。 創立 50 周年を迎え、また三年制課程移行を機に平針に移転して 15 年、今年度は重要な事業変更計画を遂行いたしました</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総定員の変更承認申請及び変更届出申請 <ul style="list-style-type: none"> 現行総定員：定員 70 名 × 3 学年 = 210 名（6 クラス） 変更申請後：定員 50 名 × 3 学年 = 150 名（3 クラス） <p>まだまだ不足傾向にある歯科衛生士の資格保持者ですが、年を追うごとに難易度が高くなる国家試験に対し質の高い学生獲得を目指し、優秀な人材を育成して参ります</p> <p>教育活動に対する情報は自校ホームページにて掲載している</p> <p>情報システム化は既に、学校会計、学校給与、学生募集を実施している</p> <p>【今後の課題と取組】</p> <p>情報ネットワーク整備と情報教育支援システムを強化したことに併せて、ICT の活用と学生への情報処理システム構築が必要で、教員と学生の相互性を高める必要がある</p> <p>学生募集ソフトに付加されている教務関連機能ですが、年間カリキュラムが管理できるように整備を行う</p>
学校評価委員の意見
<p>評価：ほぼ適切である</p> <p>ICT 活用のシステムを学生との連携システム構築が必要であることと、学生個々のネット接続状況や必要に応じて、端末の提供案内を行うことも検討すること</p>

③教育活動

評価項目
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか

授業評価の実施・評価体制はあるか
職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）を確保するなどマネジメントが行われているか
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか
職員の能力開発のための研修等が行われているか
自己評価
<p>【取組状況と成果】</p> <p>臨床実習担当指導者に対しても成績評定会、講師会を開催し学生指導の指針、成績評価方法など情報共有をすることで適切な評価の実施に努めている</p> <p>また関連分野における業界等との連携において優れた兼務教員を招くことができた専任教員が、歯科衛生士専任教員講習会を今年度も受講し、専任教員Ⅰ・Ⅱの認定歯科衛生士の資格を取得した。本年度も専任教員が専任教員Ⅰの認定歯科衛生士の資格を取得するために講習先に参加予定である</p> <p>今年度のカリキュラムについては、①カリキュラムのスリム化②国家試験の出題基準（出題されやすいポイント）にあった講義の依頼を行い、まずは肥大化したカリキュラムの改定を行った</p> <p>歯科衛生士会に2名の専任教員が加入し研修会に参加した</p> <p>【今後の課題と取組】</p> <p>歯科衛生士専任教員講習会を今後も受講し、専任教員認定歯科衛生士の資格を取得し、人材育成の目標に向けた授業ができる教員を増やしていく</p> <p>授業評価のあり方について①学習前の認識や経験、興味関心など（レディネス）を把握する②授業過程において知識、技能等が習得されつつあるか確認する。③単元が終了時点で目標達成したかどうかを確認する。現段階では評価体制に検討の余地があり、教務間での話し合いをしっかりと行い評価体制を整えて行きたい</p> <p>教員の能力開発のための研修ができるような時間の確保も併せて進めて行きたい</p> <p>教員の指導力育成や資質向上・モチベーションアップできる勉強会・研修会にも積極的に参加や開催できるようにしていきたい</p> <p>職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れ改善を図って行きたい</p>
学校評価委員の意見
<p>評価：ほぼ適切である</p> <p>教員の資質向上のため研修会に参加させることは非常に重要である、継続して早期に専任教員全員が受講するよう努めること</p> <p>また、外部指導員（歯科衛生士）から学内での講義内容、実習を見学してもらい意見をも</p>

らう仕組作りを行うこと。国家試験の試験問題において、数多くの器具器材に触れることも重要であるため、各実習先への周知を行うことが必要である

④学修成果

評価項目
就職率の向上が図られているか
資格取得率の向上が図られているか
退学率の低減が図られているか
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか
自己評価
<p>【取組状況と成果】</p> <p>就職率の向上については7月末に就職を解禁し、夏休みを利用し3施設程度見学へ行かせた。その施設の中で希望する歯科医院の面接に行かせて、10月頃には多数の内定が決まった</p> <p>国家試験合格を目指し、3年時には国家試験対策として非常勤講師によるまとめの講義、専任教員による補習授業を実施している</p> <p>模擬試験などを実施し全国的なデータを知ることによりモチベーションの向上につながっている</p> <p>卒業後のキャリア形成への効果を把握し在校生に還元してもらえよう、卒業生で活躍の場が違う歯科衛生士に来てもらい、キャリア形成教育を行ってもらおう</p> <p>【今後の課題と取組】</p> <p>国家試験対策については今よりも少し早い段階からの対策を考え、夏には受験者が苦手としている基礎科目（解剖学、生化学、生理学、病理学、微生物学、薬理学）から特に国家試験に出題されやすいポイントを夏期基礎対策講座で対策をしていきたい。また成績が伸び悩んでいる学生に対しては夏期講習を開催し夏休みより国家試験対策を行っていきたい</p> <p>成績不良者には専任教員が授業後の補習授業を実施しているがなるべく国試対策時に負担がかからないように早めから模擬試験などを実施し全国的なデータを元に課題をこなし合格率向上を図りたい</p> <p>退学者が1年生に多くだしてしまったため、1年生の後期カリキュラムの中にメンタルヘルスの講義を取り入れ外部講師にもメンタルが落ちた時の対応の協力を仰ぎたい</p>
学校評価委員の意見
<p>評価：ほぼ適切である</p> <p>難易度が上がる国家試験について、実力試験の難易度設定が重要なことや個々の習熟度に関係があることや、基礎の積み重ねが重要であることの学びの維持向上について検討する必要がある。近年は国家試験に対する実力と併せて重要なことがメンタル面で「強い心」を養い強化することも課題である</p>

⑤学生支援

評価項目
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
学生の健康管理を担う組織体制はあるか
課外活動に対する支援体制は整備されているか
学生の生活環境への支援は行われているか
保護者と適切に連携しているか
卒業生への支援体制はあるか
関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等が行われているか
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
専門学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか
自己評価
<p>【取組状況と成果】</p> <p>授業料軽減補助金の交付に伴い、各学年の該当学生の状況を確認し申請手続きを行った 更に昨年度、新規採用となった支援補助金の支給区分（4区分：多子世帯※3名以上の扶養者世帯）が所得制限の実質撤廃による該当幅の広がりに対し、告知や手続き等に関しても周知徹底を行います</p> <p>年一回の健康診断を実施しクラス担任を中心とし学生の様子を注意深く観察している 成績表の郵送、また不良者に対しては保護者に連絡をとるなど早めに対処している 各教室に加湿器を入れインフルエンザ・コロナ対策を行ったためか感染者が減少した 学校独自の歯科医院奨学金制度を実施している 課外活動は認知症サポーターのため講義を受けサポーターの一員となり認知症普及啓発活動に参加する</p> <p>【今後の課題と取組】</p> <p>経験年数の短い教員についてのサポート体制についての見直しが必要であると考え なお、卒業生の活躍を在校生に伝えていけるような研修会・活動報告会などを再開させたい 課外活動に介護職員初任者研修（旧：ホームヘルパー2級）の取得を検討している MicrosoftOffice365 アカデミックの学生と教職員間での活用を徐々に展開していく必要性がある 指導調査の来校調査時に確認項目でもあった、学校危機管理マニュアルを災害発生時に慌てないためにも事前訓練の必要性がある</p>
学校評価委員の意見
<p>評価：ほぼ適切である</p> <p>現在の取組と課題の項目を踏まえて引き続き鋭意努力を行っていくこと</p>

⑥教育環境

評価項目
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか

学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか
防災に対する体制は整備されているか
自己評価
<p>【取組状況と成果】</p> <p>養成所指定規則上の施設、専修学校設置基準上の施設についての法令遵守を行っているインターンシップ、海外研修制度に関しては実施をしていない</p> <p>防災整備は学生及び教職員一人一人に防災グッズを配布し指定のロッカーに常備させている</p> <p>歯科衛生士養成デジタルマルチモニタリングシステムの導入により相互実習の強化が可能となった、またアナログ処理だったデンタル X 線をデジタル画像処理に変更しました</p> <p>【今後の課題と取組】</p> <p>大規模修繕計画の再策定と併せて、ICT 教育の具体的な計画を策定し、学生へタブレット 2in1 型 PC の購入活用と教員との連携を加速化させる。</p> <p>既存の講義、実習を行う液晶プロジェクター、液晶モニターがアナログ対応のままなのでデジタル対応への更新工事が急務である</p> <p>防災は学校全体としての備蓄品を検討する項目は昨年度も掲げていたが、着手できておらず外部団体への協力を得ての防災訓練と、既存の学校危機管理マニュアルを強化することが必要である</p>
学校評価委員の意見
<p>評価：ほぼ適切である</p> <p>現在の取組と視聴覚システムの更新、危機管理マニュアルの諮問や防災訓練実施も視野に入れ引き続き鋭意努力を行っていくこと</p>

⑦学生の募集と受入れ

評価項目
高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか
学生募集活動は、適正に行われているか
学生募集活動において、資格取得・進学又は就職状況等の情報は正確に伝えられているか
自己評価
<p>【取組状況と成果】</p> <p>早期化する学校選択の動向や出願傾向に鑑みて、情報発信を早期化し情報化社会の最先端ツールを生かした学生募集活動を展開していく必要がある。教職員から様々な意見を拝聴しながら活動に取り組んでいきます。SNS での募集活動の展開は普段の学生の様子を定期的に知らせてもらい、本校の雰囲気を感じ取ってもらう活動を新たに加えてイベント参加者への SNS からつながりの導線を強化して参ります</p> <p>しかし本年度の募集については早期希望者への魅力発信を十分にできなかったこと。社会人獲得においては夜間部を持つ養成所の定員が増加された影響から苦戦を強いられました</p>

<p>毎年開催されている高等学校進路指導協議会との協定や指摘事項を遵守している</p> <p>【今後の課題と取組】</p> <p>本年1月からの体験イベントは新3年生へと切り替え、まずは学校案内を早期に制作し、今期より新しく制作を行ったAO入試に特化した「AOエントリーマニュアル」を別冊でより早く、簡略化されたエントリー方法を試みます。また従来の減免制度も強化し、学校をよりよく理解いただいた希望者への有用性を高めた社会人獲得の強化策として募集重点エリアの歯科医師会に依頼し、新たに作成した「社会人リーフレット」を配布することにより歯科助手からのステップアップや検診に来院する高校生への情報発信を依頼する。また以前実施していた社会人向け体験入学を次年度は再度、広報計画に組み込みます</p> <p>学びの電子化と同様に web 出願の導入を検討して参ります</p>
<p>学校評価委員の意見</p>
<p>評価：ほぼ適切である</p> <p>現在の取組と課題の項目を踏まえて引き続き鋭意努力を行っていくこと</p>

⑧財務

<p>評価項目</p>
<p>中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</p>
<p>予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</p>
<p>財務について会計監査が適正に行われているか</p>
<p>財務情報公開の体制整備はできているか</p>
<p>自己評価</p>
<p>【取組状況と成果】</p> <p>今年度も財務状況は安定している状況です。主だった管理施設の機器更新はほぼ完了しており突発的な修繕発生もありませんでした。大規模修繕の計画と ICT 教育活動の講義室及び実験室の投影システムが更新時期である</p> <p>コンサル契約を締結している公認会計士より財務諸表の確認と指導をいただいている</p> <p>【今後の課題と取組】</p> <p>学生数が減少傾向にあり、大規模修繕に備える計画を年度ごとに細分化させていく見直しを検討する必要がある</p> <p>様々な分野で価格の高騰が激しい中、長年据え置きである学納金の見直しも検討項目である</p> <p>予算執行に関してはできるだけ最小で最良のものを吟味し無駄なく決裁する</p> <p>数年ぶりの高金利水準から元本保証で運用率の高い金融商品の組み替えを検討する</p> <p>情報公開に関してはホームページにコンテンツを作成し、学内に閲覧書類も整備している</p>
<p>学校評価委員の意見</p>
<p>評価：ほぼ適切である</p> <p>引き続き世間情勢の不安定さから予算執行について慎重に実施すること、募集活動についても例外なく最大限効果的な媒体を吟味することを心がけること</p>

⑨法令等の遵守

評価項目
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか
自己評価結果を公開しているか
自己評価
<p>【取組状況と成果】</p> <p>個人情報に関しては取得に対する注意と漏洩に対する対策はサイバーテロの巧妙さを考慮し、従前に加入していた個人情報漏洩保険をサイバー保険として更に強化する 法令解釈の相違を防ぐことと、様々な突発的事態に対策するため弁護士とのコンサル契約を行っている</p> <p>自己評価報告書、学校関係者評価委員会報告書に関しては今年度当初から実施し情報公開を行っている</p> <p>【今後の課題と取組】</p> <p>自己評価とそれに伴う学校関係者評価委員会を実施する中で、問題点の改善は基より実施の時期や構成員等も細かく検討し、組織の充実を図ります</p>
学校評価委員の意見
<p>評価：ほぼ適切である</p> <p>自己評価報告書と学校関係委員会報告書の情報公開については継続して実施すること職業実践専門課程の申請を意識して外部評価の検討も行うこと</p>

⑩社会貢献・地域貢献

評価項目
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか
自己評価
<p>【取組状況と成果】</p> <p>天白区歯科医師会主催・天白保健センター共催の「歯と口の一日健康センター」に一部の学生がイベントに参加させていただき、就学前の乳幼児とその家族に口腔衛生に関する普及啓発活動の実施に携わらせていただいた</p> <p>資源や施設を活用した社会貢献は天白区歯科医師会の会合や研修会場として施設の提供を行っている</p> <p>【今後の課題と取組】</p> <p>学生のボランティア活動に関しても、カリキュラムがひっ迫した状態にあるため困難であるが、老人保健施設を増やし、介護職員初任者研修（旧：ホームヘルパー２級）の取得を検討</p>

し歯科衛生士として、医療人としての幅の広がりを継続して学ばせます
学校評価委員の意見
評価：ほぼ適切である 現在の取組と課題の項目を協議し引き続き鋭意努力を行っていくこと